

## 長期戦略:テーマ 「国際化の推進」

## Ⅱ.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	担当部署 教務機構
-----------------------	---------------	---------------	--------------

## 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(6)-⑱ (SGU2-5-2) (SGU2-5-2) TOEFL 対策講座	2014 年度	2023 年度	必要なし	不要
<b>内容</b>				
【目的】 海外協定大学への学生の留学、特に短期プログラムへの学生の参加促進を目的に、学生の TOEFL スコアを向上させる各種プログラムの検討と提供を行う。				
【内容】 現在、言語教育研究センターでは、入学前のウェルカム・インテンシブ・イングリッシュの実施、英語インテンシブ・プログラムをはじめとする正規の習熟度別英語科目の開講および自習用教材の提供を行っている。学内の各部課では、国際教育・協力センターの「TOEFL iBT 対策講座」(無料)や、エクステンションプログラムの「TOEFL-ITP 対策講座」(有料)など、類似する講座が実施されている。 なお、本施策は、(SGU)2-1-3「留学の事前・事後教育の充実」ですでに実施・検討中の施策、および(SGU)2-5-1「英語教育の飛躍的充実」の施策と連動させて、本学としてよりよい TOEFL 対策プログラムのあり方を俯瞰した上で、海外協定大学への留学や短期プログラムへの参加を目指す学生を対象とする TOEFL 対策講座の開講に向けて実施・検討を行う。実施内容、形態、時期等について他プログラムとの調整が必要であり、本学における課題とSGUで取り組む各関連部課の施策とを照らし合わせた上、本施策の具体的な方向性を検討、提案する。				
進捗状況を測る 指標	指標名	定義・算式		
指標1				

## 目標1&lt;指標1&gt;

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標						
実績						
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度以降	—
目標						
実績						

## 2. 実施計画:ロードマップ

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
TOEFL 対策講座	策定段階					実施
	2021年3月末段階	検討	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 交換留学申込者の語学力強化策実施	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動)	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動)	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 新たな実施施策の必要性検討
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	策定段階					
	2021年3月末段階	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 検討結果に応じて実施	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 検討結果に応じて実施	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 検討結果に応じて実施	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 検討結果に応じて実施	(SGU2-1-3 および 2-5-1 施策と連動) 検討結果に応じて実施
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階					
2021年3月末段階						

## 3. 実施計画:費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】						
非公開						
経費	2014年度承認	2015年度承認	2016年度承認	2017年度承認	2018年度承認	2019年度承認
非公開						
人員・人件費	2014年度承認	2015年度承認	2016年度承認	2017年度承認	2018年度承認	2019年度承認
非公開						
経費	2020年度承認	2021年度承認	2022年度	2023年度	2024年度以降	
非公開						
人員・人件費	2020年度承認	2021年度承認	2022年度	2023年度	2024年度以降	
非公開						

## 4. 進捗状況・得られた成果

2016 年度	
2017 年度	
2018 年度	
2019 年度	
2020 年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

2018 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、(SGU)2-1-3「留学の事前・事後教育の充実」および(SGU)2-5-1「英語教育の飛躍的充実」の施策と連動させて、検討を進めている。</li> <li>・(SGU)2-5-1 では、学部必修の英語を含めた、本学の英語教育全体の飛躍的充実を図ることで、初年次より将来留学に向けて必要となる英語運用能力の底上げを目指す。 加えて、(SGU)2-1-3 では、交換留学派遣希望者の内、派遣に必要なスコアに満たない学生をメインターゲットに、現状 CIEC 実施の「TOEFL-iBT ポイント解説セミナー」の実施と言語教育研究センターが提供している「TOEFL-iBT 用 Practice Test」(模擬試験教材)および「TOEFL-iBT オンライン教材」(問題練習用教材)を連動させ、短期的なスコア UP 策を強化する。</li> </ul>
2019 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、(SGU)2-1-3「留学の事前・事後教育の充実」および(SGU)2-5-1「英語教育の飛躍的充実」の施策と連動させて、検討を進めている。</li> <li>・(SGU)2-5-1 では、学部必修の英語を含めた、本学の英語教育全体の飛躍的充実を図ることで、初年次より将来留学に向けて必要となる英語運用能力の底上げを目指す。 加えて、(SGU)2-1-3 では、交換留学派遣希望者の内、派遣に必要なスコアに満たない学生をメインターゲットに、現状 CIEC 実施の「TOEFL-iBT ポイント解説セミナー」の実施と言語教育研究センターが提供している「TOEFL-iBT 用 Practice Test」(模擬試験教材)を連動させ、短期的なスコア UP 策を強化する。</li> </ul>
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、(SGU)2-1-3「留学の事前・事後教育の充実」および(SGU)2-5-1「英語教育の飛躍的充実」の施策と連動させて、検討を進めている。</li> <li>・(SGU)2-5-1 では、学部必修の英語を含めた、本学の英語教育全体の飛躍的充実を図ることで、初年次より将来留学に向けて必要となる英語運用能力の底上げを目指す。 加えて、(SGU)2-1-3 では、交換留学派遣希望者の内、派遣に必要なスコアに満たない学生をメインターゲットに、CIEC 実施の「TOEFL-ITP ポイント解説セミナー」や「IELTS ポイント対策セミナー」の実施、また、言語教育研究センターから希望者に対し「TOEFL-iBT 用 Practice Test」(模擬試験教材)を提供することで、短期的なスコア UP 策を強化する。</li> </ul>

2021 年度	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で派遣留学者数の2021年度の状況は不透明ではあるが、本施策は、(SGU)2-1-3「留学の事前・事後教育の充実」および(SGU)2-5-1「英語教育の飛躍的充実」の施策と連動させて、検討を進めている。</p> <p>・(SGU)2-5-1 では、学部必修の英語を含めた、本学の英語教育全体の飛躍的充実を図ることで、初年次より将来留学に向けて必要となる英語運用能力の底上げを目指す。</p> <p>加えて、(SGU)2-1-3 では、交換留学派遣希望者の内、派遣に必要なスコアに満たない学生をメインターゲットに、CIEC 実施の「TOEFL-ITP ポイント解説セミナー」や「IELTS ポイント対策セミナー」の実施、また、言語教育研究センターから希望者に対し「TOEFL-iBT 用 Practice Test」(模擬試験教材)を提供することで、短期的なスコア UP 策を強化する。</p>
2022 年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2014 年度	—
2015 年度	—
2016 年度	—
2017 年度	—
2018 年度	—
2019 年度	—
2020 年度	—

## 7. Total Review の結果

### 【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
(1-(6)-③参照)	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 廃止	(1-(6)-③参照)

## 【フェーズⅡ(2022～2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	